チームをやる気にさせる技術

実践的なコーチング講習のご案内



本当のコーチングスキル

チームの力を発揮させるための管理スキルの必要性 が言われて久しく、それに対応した管理職向けの研修 や、人を動かすスキルとしてのコーチング研修も盛ん です。

しかし、「管理職研修を受けても、コーチング研修を 受けてもやっぱり部下は動かない」と思っている人も 多いのではないでしょうか。

なぜでしょうか?

答えは簡単です。「**使えるレベルのコーチングスキル が身についていない**」からです。

コーチングスキルが人を動かす、育てるために有効なことには疑問の余地はありません。多くのコーチング 講習の存在もそれを裏付けています。

ですが、多くの場合、スキルを身につけるための練習ができていないのです。コーチングスキルは話を聞いただけで身につくものではありません。

コーチングスキルを身につけるためには、練習を行い、 応用力を身に付ける必要があるのです。

当講習では、実際の現場の問題を題材として徹底した 実践方式の練習を行い、使えるコーチングスキルを身 につけていただきます。

さらに、やる気を引き出すだけではなく、「育てる」 ための「スキルコーチング」の手法を含めて学べるために、チームを育てて活かすトータルスキルを身につけることができます。

目的

- ・やる気を引き出すコーチングの考え方を理解し 実施できる。
- ・育てるコーチングの考え方を理解し実施できる。
- コーチングに必要なレベルのコミュニケーションスキルを身につけられる。

効果

チームを育てることができ、メンバーの自発的な行動、 積極性を期待できるようになります。

その結果、生産性が上がり、**トータル的なコストパフ** オーマンスの向上を見込めるようになります。

講習方法

例:週に一日の講習を6ヶ月実施

講習で講義とワークショップによる気づきを通して 学習し、現場で実施する課題を提示します。

次回の講習では課題の実施結果を元に、問題解決を図ることを通して実践的なコーチングスキルを学びます。

5~20名での受講をお勧めします。

カリキュラム

心を開く	傾聴	姿勢
		相槌
		繰り返し
	承認	認める言葉
感情と脳	前向きの感情	プラス思考
		学習効率
	後ろ向きの感情	マイナス思考
		心理的な抵抗
話を聞く	質問	クローズクエスチョン
		オープンクエスチョン
		ファシリテーション
	観察	現状の観察
		変化の把握
伝える	言語	使う言葉
		間の使い方
	非言語	視線
		表情
		仕草
		位置
		語調
律する	感情	怒る
		叱る
		ほめる
		信じる
育てる	課題の提示	育てるための課題
		課題の目的
		課題の何度
	失敗から学ぶ	失敗から学ぶもの
		後悔と学ぶ気持ち
手法	コーチングノート	計画
		記録
	>), === 111, f=1), >=	

これらを実際の具体例を通して学び、使う事でスキルとして定着させていきます。

実施順については、現場の状況により変更されます。



有限会社テクノセンス

〒341-0024 埼玉県三郷市三郷 1-5-3-501 TEL 048-949-1238 FAX 048-949-1239 担当:長谷川貴則 090-3068-7398 hasegawa@technosense.co.jp